試　験　地	受　験　番　号	氏　　名

1建実

受験地変更者は上欄のほか，本日の受験地と仮受験番号を記入してください。

本日の受験地＿＿＿＿＿＿＿＿　　仮受験番号　仮―＿＿＿＿＿＿

平成１７年度
１級建築施工管理技術検定試験
実地試験問題

次の注意事項をよく読んでから始めてください。

〔**注　意　事　項**〕

１．ページ数は表紙を入れて**7ページ**です。

２．試験時間は，**１３時から１６時**です。

３．試験問題は，**6問題**です。

４．解答は，**別の解答用紙**の定められた範囲内に，**黒鉛筆か黒シャープペンシル**で記入してください。

５．この試験問題用紙は，試験終了時刻まで在席した方のうち，希望者は持ち帰ることができます。

途中退席者や希望しない方の試験問題用紙は，回収します。

問題１　あなたが経験した**建築工事**のうち，建設副産物対策を実施した工事を１つ選び，下記の工事概要を記入した上で，次の問いに答えなさい。

〔工事概要〕

イ．工　事　名

ロ．工 事 場 所

ハ．工事の内容　（新築等の場合：建物用途，構造，階数，延べ面積又は施工数量
改修等の場合：建物用途，主な改修内容，施工数量又は建物規模）

ニ．工　　期（年号又は西暦で年月まで記入）

ホ．あなたの立場

1．　上記の工事概要であげた工事において，あなたが実際に取り組んだ建設副産物対策に関して，次の①～③の事項について**３つ**，具体的に記述しなさい。

ただし，②の「取り組んだ対策とその具体的内容」は，それぞれ異なる内容の記述とする。

なお，一般廃棄物に関する記述は除くものとする。

①　扱った資材名又は建設副産物名

②　取り組んだ対策とその具体的内容

③　結果とあなたの評価

2．　上記の工事にかかわらず，あなたの経験に照らして，建築現場では環境問題においてどのような環境負荷低減の取組みを行うべきか，下記の５つの環境問題から**２つ**選び，具体的に記述しなさい。

ただし，取組みについては，それぞれ異なる内容の記述とする。

・　地球温暖化
・　熱帯林の減少
・　大気汚染
・　水質汚染
・　資源の枯渇

問題 2　建築工事において，下記の仮設を設置するに当たり，施工計画上の留意又は検討すべき内容を**２つ**，具体的に記述しなさい。

ただし，それぞれ異なる内容の記述とする。

1.　ゲート（車両出入口）
2.　仮設道路（場内）
3.　荷受け構台

問題 3　次の問いに答えなさい。

1.　切梁プレロード工法を用いた山留め工事において，切梁にプレロードを導入するときの施工上の留意事項を**２つ**，簡潔に記述しなさい。

2.　オールケーシング工法を用いた杭工事において，鉄筋かごの共上りを防止するための施工上の留意事項を**２つ**，簡潔に記述しなさい。

3.　コンクリート工事において，コールドジョイントの発生を防止するための施工上の留意事項を**２つ**，簡潔に記述しなさい。

ただし，コンクリートの材料や調合に関する記述は除くものとする。

4.　鉄骨工事において，トルシア形高力ボルトの本締め完了後に目視により確認すべき事項を**２つ**，簡潔に記述しなさい。

問題 4　次の１～８の記述において，各記述ごとに下線部のうち**最も不適当な箇所番号**を１つあげ，**適当な語句**を解答欄に記入しなさい。

1.　まぐさ，ひさし先端下部①，あげ裏などのタイルのはく落のおそれが大きい箇所に小口タイル②以上の大きさのタイルを張る場合，はく落防止用引金物として径が0.6mm以上の銅線③を用いることが必要である。

2.　壁のコンクリート下地面にセメントモルタル塗りを行う場合，下地コンクリート面に吸水調整材①を使用し，下塗りモルタルにはセメント混和用ポリマー②を用いる。セメントモルタルにメチルセルロースなどの接着剤③を用いると，作業性の向上，ひび割れ防止，接着力の安定化などに有効である。

3.　ＡＬＣパネルを横張りで取り付ける場合，通常，パネル積上げ段数７段①以下ごとにパネル質量を支持する自重受け鋼材を設ける。また，自重受け鋼材を設けた横目地②には，10～20mmの伸縮目地③を設ける。

4.　押出成形セメント板の耐火性能は，パネル厚さ60mmで非耐力壁耐火１時間，パネル厚さ50mmで非耐力壁耐火50分①の認定をパネル製造業者が取得している。防火区画にパネルを用いる場合，パネル上部②の取付金物に建築物の階に応じて所定の耐火性能を有する耐火被覆③を行う。

5.　塗装作業において，施工者は設計者①からＭＳＤＳを入手し，それを作業場所の見やすい所に常時掲示②する等の方法により労働者の利用に供するとともにこれを活用して安全衛生教育③を行う。

6.　軽量鉄骨天井下地の吊ボルトの間隔は900mm程度に配置し，周辺部は端から150mm①以内とし，鉛直②に取り付ける。また，天井ふところが1,500mm以上の場合は，縦横間隔2,700mm③程度に吊りボルトの振止め補強を行う。

7.　居室の壁紙施工において，壁紙及び壁紙施工用でん粉系接着剤のホルムアルデヒド①放散量は，一般に，F☆☆☆②としている。また，防火材の認定の表示は防火製品表示ラベルを１区分（１室）ごとに２枚以上③張り付けて表示する。

8.　外壁タイル張り仕上げでアルミニウム製建具を面付け①納まりで取り付ける場合，サッシ枠とタイルの間に外部シーリング材を施すことになるが，タイル表面②を伝わった雨水には無防備である。そのためサッシ枠と躯体コンクリート③との間にもシーリング材を施す必要がある。

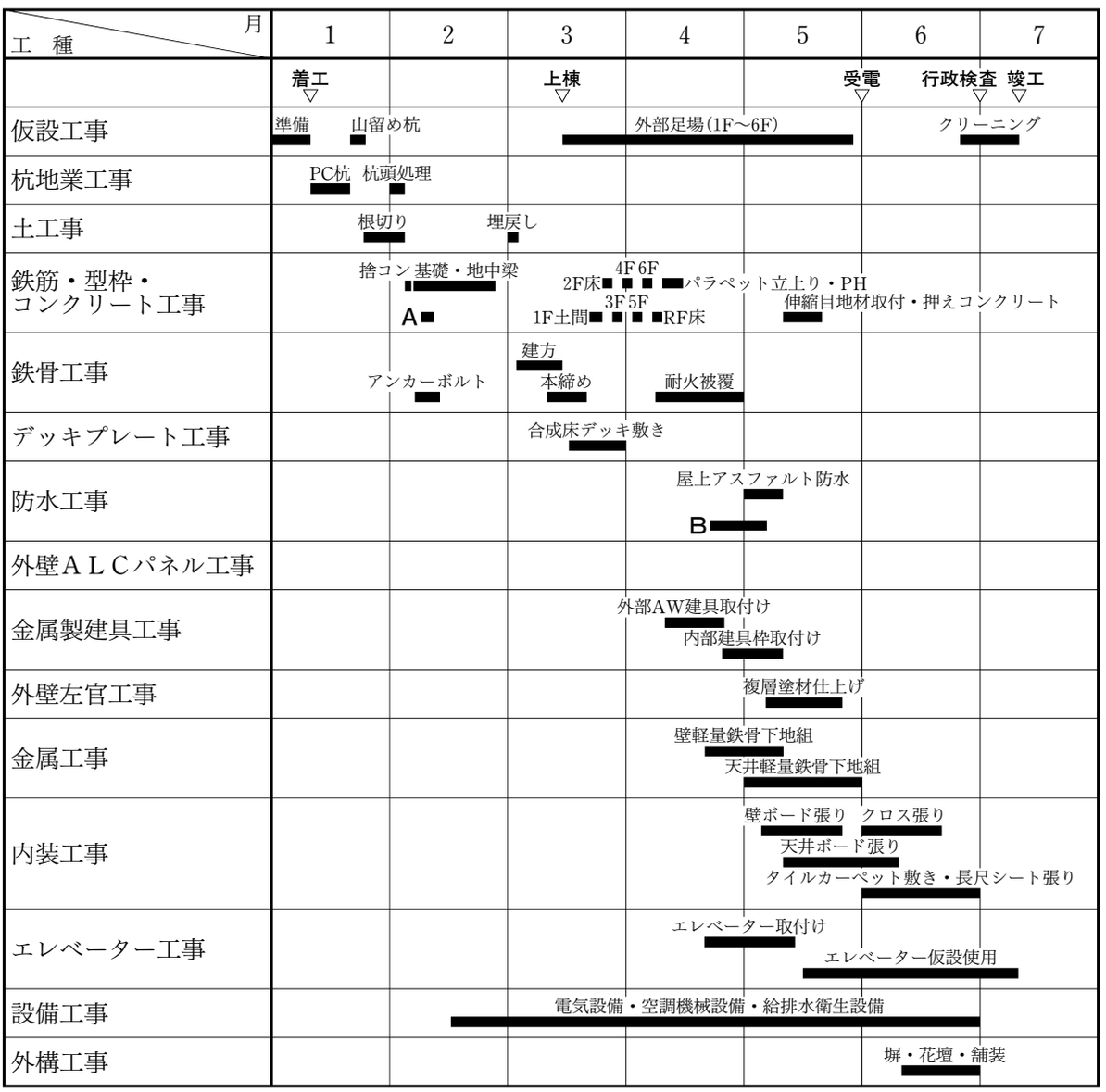
問題 5　市街地での一般的な事務所ビルの建設工事における下記の工程表に関し，次の問いに答えなさい。

ただし，構造規模は鉄骨造地上６階建，延べ面積3,000m²であり，外壁はＡＬＣパネル張りの上複層塗材仕上げとする。なお，地下階は無いが地下に受水槽室及びエレベーターピットを設ける。また，エレベーターは工事用として仮設使用をする。

1.　表中のＡ及びＢに該当する作業名を１つずつあげなさい。

2.　工程の**終了日**が**最も不適当なもの**を表の中より選び，適当な工程となるようにその終了日を旬日で定めなさい。

3.　**外壁ＡＬＣパネル工事**の工程は未記入となっている。この作業を施工する場合の適当な**開始日**及び**終了日**の期日を旬日で定めなさい。



問題 6　次の問いに答えなさい。

1.　請負関係を述べた下記の①～④の条件から，「建設業法」上，工事現場に**監理技術者**を置かなければならないすべての建設業者を，会社名（A社～G社）で答えなさい。

　ただし，A社が請け負った工事は建築一式工事とし，B社～G社が請け負った工事は建築一式工事以外の建設工事とする。

〔条件〕

①　発注者から，A社は3億円，B社は1億5千万円，C社は1億円で，それぞれ工事を請け負った。

②　A社は，D社と4千万円，E社と1千万円で，それぞれ下請契約を行った。

③　B社は，F社と3千5百万円で下請契約を行い，さらにF社は，G社と4百万円の下請契約を行った。

④　C社は，特に下請契約は，行わなかった。

2.「建設業法」に規定されている**施工体制台帳の作成の目的**を，簡潔に記述しなさい。

3.「建設業法」に規定されている施工体制台帳に記載すべき事項を**２つ**，記述しなさい。

　ただし，会社の商号・名称，住所，許可番号及び許可を受けた建設業の種類を除くものとする。